

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 利用者は、交替でスーパーへ食材の買出しに行ったり、散歩で近くの児童館や幼稚園へ出かける等、日常的に地域の人達とふれあう機会づくりに努めている。母体の特養施設と比較すると、地域からの認知度が低いことは否めないが、地域包括センター主催のイベントに空きスペースを提供する等、地域への貢献度は高まりつつある。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 利用者や家族代表、地域包括や地域代表等が2ヶ月に1回集まり、ホームの活動状況を報告、参加者から意見・要望・助言等を受け、ホームのサービスの向上に活かしている。帰宅願望の強い利用者が無断でホーム外へ出てしまうことについては、毎回のように話し合いが行われている。	評価
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4） 行政への対応は、主として母体の特養施設経由で行われており、良好な関係が築かれている。地域包括センターと協働してのイベントを通して、行政との信頼関係はさらに強くなっている。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 運営推進会議の場や、家族の面会時等、日常会話を通して常に利用者や家族等からの意見・要望等を把握・記録し、サービスの質の向上に活かす取り組みをしている。家族から利用者を法事に参加させたいとの要望があり、送迎支援を行った。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>管理者の交替期に実施された運営推進会議の議事録が欠落していたが、規定されたとおりに開催されたことは確認できた。会議の終了時にメンバーの都合を聞いて次回開催日を決めており、計画性をもって取り組んでいる。</p>

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	<p>(例示)</p> <p>自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。</p> <p>地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。</p>
3. 運営推進会議を活かした取り組み	<p>(例示)</p> <p>運営基準第85条の規定どおりに運用されている。</p> <p>運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。</p>
4. 市町村との連携	<p>(例示)</p> <p>運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。</p> <p>市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。</p>
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	<p>(例示)</p> <p>家族会を定期的（年2回以上）に開催している。</p> <p>利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。</p> <p>家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。</p>

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。